

「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」が新たに登録されました



みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦
Minato-Oasis Tomonoura

- 平成30年11月14日(水)に「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」(広島県福山市)が新規に登録され、中国地方では23箇所目(全国では126箇所目)のみなとオアシス※として活動を開始しました。
- 新規登録にあたり登録証の交付式が同日、日本クルーズ客船が運航するクルーズ船「ぱしふいっくびいなす」の寄港に併せて行われ、「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」の設置者である枝広 福山市長へ登録証を交付しました。
- 沖合に停泊したクルーズ船「ぱしふいっくびいなす」から通船にて上陸するクルーズ客を、鞆こども園による和太鼓演奏や踊りなどで出迎えました。クルーズ客は古い町並みや江戸時代の港湾施設が残る情緒溢れる町の観光などを楽しまれました。
- 「みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦」は、代表施設である「福山市営渡船場」等において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取組みを行います。



登録証交付式関係者による記念撮影

- 沖合に停泊するクルーズ船「ぱしふいっくびいなす」
総トン数:26,594トン、乗客定員:460人



- 港からお迎えの通船により上陸し、歓迎を受けるクルーズ客



※「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組みが継続的に行われる施設として国土交通省が申請に基づき登録する制度です。

【概要】みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成



【基本情報】

設置者	福山市
運営者	公益社団法人福山観光コンベンション協会
所在港湾	福山港 【重要港湾】
港湾管理者	広島県

【代表施設】



福山市営渡船場

【主なイベント】



鞆の浦弁天島花火大会



鞆・町並みひな祭



鞆の浦観光鯛網

しおまち みなと とも うら みなとオアシス 潮待ちの港 鞆の浦 “潮待ちの港”の歴史

近世港湾5施設

常夜燈



鞆港西側の雁木の南端に立つ常夜燈は、何と云っても鞆の浦の1番のシンボルです。安政6年（1859年）に建てられた船の出入りを誘導してきた燈台で、燈の高さは5.5m、基礎石は3.6mで雁木や船番所とともに鞆の港の歴史を物語っています。

雁木



潮の干満に関らず船着けできる石階段、それが雁木です。雁が飛ぶさまに似ていることから「雁木」と呼ばれています。全国でも類のない鞆の浦の雁木の雄大さ。今では、鞆の浦の代表的な景観として、住民や観光客がゆったり腰を下ろす憩い場となっています。

船番所跡



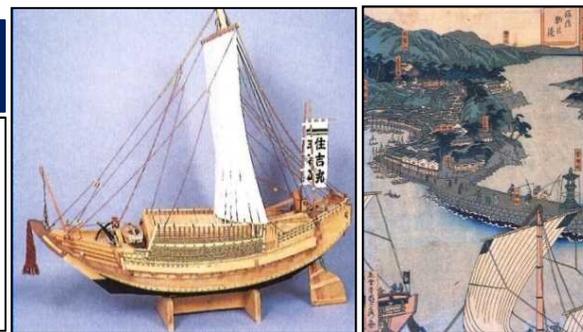
焚場（たでは）跡



波止



北前船



時代を先取りする人と文化が集まる町

鞆の浦は昔から潮待ちの港として栄え、豊かな文化を育んできました。満ち潮になると西は豊後水道や関門海峡から、東は紀伊水道から潮が入り、鞆の浦沖でぶつかります。やがて西廻り航路が開発され、北前船などの商船が出入りするようになると港町としてさらに発展しました。

江戸時代には朝鮮通信使やシーボルトを伴ったオランダ商館長の一行が入港するなど国際都市の一面ものぞかせ、時代を先取りして進化し続けました。

歴史的な遺産も多く見られ、江戸時代の港湾施設である常夜燈、雁木、波止、焚場跡、船番所跡が残っています。



江戸から明治中期にかけて、大坂（大阪）から瀬戸内海、山陰、北陸、東北を経て北海道に至る西廻り航路に従事した船は近世物流の大動脈を担っていました。西廻り航路を走る船を北前船と呼ぶようになり、鞆の浦も寄港地として発展していきました。

日本海や北海道の港から江戸や大坂へ、米や魚などが船で運ばれており、瀬戸内海をとって大坂・江戸へ向かう西廻り航路か、津軽海峡をとって江戸へ向かう東廻り航路を利用しました。

鞆の浦 初夏の風物詩 ～観光鯛網～

鯛網は、鞆の浦に約380年も伝わる伝統漁法です。外洋で冬を過ごした鯛は初夏、豊後水道・紀伊水道を抜けて、産卵のため波穏やかな瀬戸内海中央部の鞆の浦沖へとやってきます。一般の方も観光船の船上で潮風に吹かれながら、漁の様子を見学でき、古式そのままに網がしぼられ、力強さと繊細さを感じられる情景は見る人の心に刻まれることでしょう。



Web「鞆物語」より抜粋



うずみごはん



鯛めし



鯛茶漬け



鯛そうめん



保命酒

鞆の浦名物といえば、やはり“鯛”です。鯛めしや鯛茶漬けといった定番から、鯛そうめんなど他ではあまり味わえないメニューもあります。また、保命酒は生薬を含むことから「瀬戸内の養命酒」とも呼ばれる鞆の浦名産のリキュールで、みなとオアシスの周辺では、これらの味覚を堪能することができます。

他にうずみごはんは、ぜいたく品とされた具材をご飯に隠して食していたことがはじまりとされる、福山の郷土料理です。みなとオアシスにお越しの際には、是非ご賞味ください。

平成いろは丸と坂本龍馬

幕末・維新ゆかりの地 福山・鞆の浦と
平成いろは丸

鞆の浦福山市営渡船場から仙酔島行き
のフェリー「平成いろは丸」が運航して
います。「いろは丸」とは坂本龍馬率
いる海援隊の乗り込んだ蒸気船です。



弁天島×平成いろは丸



渡船場×平成いろは丸

いろは丸事件とは？

150年の時をこえて
「いろは丸事件」の足跡をたどる

慶応3年(1867年)4月23日 午後11時頃
いろは丸が紀州藩船「明光丸」と鞆の浦沖で衝突・損傷。
4月24日 午前4時頃 鞆に曳航中沈没。
その後紀州藩との談判を開始します。



坂本龍馬ゆかりの施設を
見学することができる！

命がけの
交渉を辿る！



常に暗殺の危機にありながら、決死の覚悟で沈没事件の
談判を重ねた坂本龍馬ゆかりの施設を見学できます。

福山市イメージキャラクター「鞆龍馬」→



福禅寺 對潮楼（龍馬談判跡）



桝屋清右衛門宅（龍馬宿泊跡）



旧魚屋萬蔵宅（龍馬談判跡）



太田家住宅（鞆七卿落遺跡）



いろは丸展示館

展示室には海底から引き揚げられた遺物など
があります。



いろは丸展示館 室内展示

そして、龍馬と紀州藩との
戦いは鞆の浦から長崎へ
ぜひ「みなとオアシスNAGASAKI」
へもお越しください。



桝屋清右衛門宅 弁天島 市営渡船場（みなとオアシス主要施設）
位置図 福禅寺對潮楼

いろは丸展示館
太田家住宅